

2023 STYLING COLLECTION 関西大会 競技要項

	種目	出場資格・出場費	競技時間	競技要項	失格事項
10	成人式 ヘア&メイク&着付	<p>理美容室勤務者 理美容室経験者</p> <p>理美容専門学校 在校生不可</p> <p style="text-align: center;">SPC 8,000 円</p>	<p><1次競技> メイク・セット 60分</p> <p><2次競技> 補正～長襦袢 20分</p> <p><3次競技> 着付 20分</p> <p><手直し> 5分</p>	<p>・成人式の品位あるヘア・メイク・着付の技術力と トータルバランスを競技する</p> <p>・選手は分業制でもよい</p> <p>例) 1人でモデルにヘア・メイク・着付を行う 3人でヘア担当1人・メイク担当1人・着付担当1人 2人でヘア+メイク1人・着付1人</p> <p>どのような組み合わせもOK 但し助手は認めない</p> <p>・振袖・袋帯を使用する</p> <p>・モデルはプロ・アマ問わないが、SNS や雑誌などに 掲載可能であること</p> <p>・長襦袢、着物の衿とじは前もって済ませて会場入りする</p> <p>・1次競技・・・競技会場にてメイク・セットを60分で行う</p> <p>・2次競技・・・控室にて補正～長襦袢までを20分で行う</p> <p>・3次競技・・・競技会場にて着付を行う</p> <p>・手直し・・・マスクを外しモデルのメイク直し並びに草履を 履かせ、ポージングまで行う</p> <p>・電気器具はコードレス器具のみ使用可</p> <p>・競技者の服装は上は白のシャツかブラウス。 下は黒のパンツとする(パンツの素材は問わない)</p> <p>・選手とモデルは不織布マスク着用</p> <p>※カラーデザイン部門・デッサン部門・フォト部門・SNS トータルブラン ディング部門以外のダブルエントリーは出来ません</p> <p>【詳細要項】 この競技は上記内容以外に詳細要項があります ※競技要項と共に「詳細要項」の内容をWEBに掲載しますので ご確認ください</p> <p>【減点事項】 競技要項と詳細要項に記載の内容に反した場合</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ヘア担当 男性可 メイク担当 男性可 着付担当 女性のみ</p> </div> <p>・選手以外がヘア・メイク・着付を 補助した場合</p> <p>・競技時間終了後にモデルに 触れていた場合</p> <p>・移動中に作品を手直した場合</p>

(1) 課題の内容

- 成人式用の中振袖の着付(六通または全通の袋帯使用)及びセット、メイクを行う。帯結びは自由とする
- 成人式の品位あるヘア・メイク・着付の技術力とトータルバランスの完成度を競技する

(2) 競技規定

- 選手、モデルは不織布マスク着用
- ヘア&メイクの競技、ボディ補正、長襦袢着付までの競技、振袖着付・帯結びの競技に分けて行う
- 競技終了後、5分間でメイク直しをして、たとう紙を外して草履をはかせ、ポージングまで行う
- 選手はヘア・メイク・着付 分業制でも良い

どのような組み合わせもOK 但し助手は認めない

- {
- (例) ◆ヘア担当1人・メイク担当1人・着付担当1人 3人で出場
 ◆ヘア+メイク1人・着付1人 2人で出場
 ◆すべて1人で出場

ヘア担当	男性可
メイク担当	男性可
着付担当	女性のみ

- モデルは人体とし、プロ・アマは問わないが、SNS や雑誌などに掲載可能であること
- 選手の服装は上衣は白のシャツやブラウス、下は黒のパンツ（素材は問わない）
 シンプルで清潔な服装であること（肌の露出の多いものや、透けるもの、ヒラヒラするものは禁止する。
 帽子、スカーフ、ショール、アクセサリーも禁止とする。）

(3) 競技時間

- 1次競技・・・競技会場にてメイク、ヘアセットを60分で行う
- 2次競技・・・控室にて補正～長襦袢までの20分で行う
- 3次競技・・・競技会場にて着付を20分で行う。その後5分間でモデルのマスクを外し、メイク直しをして、
 たとう紙を外して草履をはかせ、ポージングまでを行う

メイク、ヘアセット開始時には、立ったまま「お願い致します」
 着付時には、衣装敷の左後ろに正座したまま「お願い致します」と挨拶してから、競技に入る。

(4) 競技用具の準備 (選手が準備するもの)

- ① 中振袖(重ね衿または比翼つき)
- ② 袋帯(六通または全通)
- ③ 草履
- ④ 長襦袢
- ⑤ 帯締め、帯あげ
- ⑥ ヘア用具一式
- ⑦ 化粧品一式
- ⑧ 衣裳敷き(120cm x 180cm以内)
- ⑨ 衣装箱
 (通常の衣装箱及びそれに準ずる箱を必ず持参し、大きさは縦44cm×横64cm×高さ25cm以内とする)
 ※プラスチックの衣裳ケースや手さげ型の衣裳ケースは除く

- ⑩ 小物付属品
足袋・肌襦袢、裾よけ（もしくはワンピース型の肌襦袢）・腰紐（5本～6本）・帯枕
仮ひも（三重仮ひも・四十仮ひも等）
（変り結び用）・ボディ補正用具・前帯板と後ろ帯板（ゴム付きは不可）・クリップ類・伊達巻き2本
（長襦袢及び着物用）
- ⑪ ガウン（競技会場でメイク・セットをする時に必ず着用する。色は無地で、肌色に馴染む明るめの色を使用すること・ガウンの下は肌襦袢・足袋は着用のこと。）
- ⑫ ガウンの上にはクロスやケープはせず、必ず前、後ろに白のタオルをかける。（バスローブは禁止）
- ⑬ 椅子に座った時に膝が見える長さのガウンの方は、ひざ掛けを用意してくる
(ひざ掛けは白で無地に限る)

（5）着付け競技に関する注意事項

- ① 衿とじは、事前にやってくること
- ② ものさし、メジャーの使用は認めない
- ③ 助手の使用は一切認めない
- ④ クリップを留めるための、ポーチや腰用のエプロンの使用は認めるが、タイム前にそれらにクリップを留めることは認めない（スタート後はOK）
- ⑤ ブラジャーの使用は認めない。和装用のブラジャーは使用可（補正付は禁止）
- ⑥ 胸をつぶすための補正やガーゼは使用して良い
- ⑦ 極端に完成されたボディ補正道具の使用は認めない
- ⑧ 補正を止めるための、テープや包帯止めは使用可
- ⑨ ボディ補正のパットやタオルはとじ付けてあってはいけない
- ⑩ ひも付きのおしりパットも不可
- ⑪ 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない
- ⑫ モデルが、ひも、伊達巻、帯などを結ぶことは認めない
(但し、ひも、帯あげなどを、腕にかけたり、手に持つことは差し支えない。)
- ⑬ モデルが、袖、衿元、裾などを修正すること、衿合わせを押さえることは認めない
(但し、たもとを持ち上げることは差し支えない)
- ⑭ 帯に形付けをしたり、帯結びの課程につながる過度のたたみ方は認めない
- ⑮ 袖の板紙使用は、撮影時は良いが、競技の際の使用は認めない
- ⑯ 帯飾りは禁止
- ⑰ 帯あげは出来上がりが「入」の字型とする。帯締めは中心で結ぶこと
- ⑱ 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない
- ⑲ 草履を履いて審査を行い、審査中のモデルは、両手を軽く広げ、おはしよりが隠れないポーズをとる
(草履を履かせて、ポーズ付けまでをタイムとする)

（6）衣裳類の禁止事項

- 1：中振袖
 - ①身幅にアールをつけて胸部を絞った仕立ては認めない
 - ②おはしより紙は使用禁止とする
 - ③重衿は着物の衿に付けること
- 2：長襦袢
 - ①衿は自由とするが、半衿は必ず縫い付ける
 - ②後衿の力布は使ってはいけない
 - ③特殊加工をほどこした衿や刺繍の入った衿は認めない

3：帯 ①ひだの折り癖がつけられているものは認めない

4：小物 ①コーリンベルトの使用は認めない

②帯飾りは禁止とする

(7) ヘア・メイクに関する注意事項

- ① アミカラー等は事前に巻いて控室に入場し、競技開始までに外しておく
- ② メイクは下地クリームもしくはファンデーションから開始する。
化粧水・乳液は競技前につけておいてOKとする
- ③ モデル自身による化粧施術は、競技中はもとより、控室でも禁止する
- ④ アイテープ及びつまつ毛を事前に装着することを禁止とする。
また競技中にモデルがつけることも禁止とする
- ⑤ まつ毛エクステは禁止とする
- ⑥ モデルがセットのブラシ・ピンなどを選手に渡すこと、メイクブラシ・筆などを
選手に渡すことを禁止とする
- ⑦ 髪飾りの使用は可。ただし、ヘアピースの個数は1個とし、頭部の1/3以上を覆ってはならない
- ⑧ まげや、おだんご、編み込みなど、あらかじめ形を作ってくることを禁止する
- ⑨ 形の作られたすき毛、かつらやヘアピースの使用は認めない
- ⑩ 控室、競技会場での電源は使用出来ない。コンセント不要の電気器具については使用を認める

(8) その他の注意事項

- ① 競技中に選手同士またはモデル、観客と会話等をしてはならない。またアドバイスも受けてはならない
- ② 競技中道具の貸し借りをしてはならない
- ③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視員の指示に従わない等の行為は禁止とする
- ④ タイムを計るためのタイマー、時計は音の出ない物に限る
- ⑤ 競技中に選手が時計、ブレスレット、指輪を身につけてはいけない
- ⑥ 控室にはモデル及び出場者本人以外の立入りを禁止する
- ⑦ 補正及びメイクに使うタオルも白に限る
- ⑧ 競技用具は、大会当日の朝、競技が始まる前に、監視委員が厳重に点検を行う
- ⑨ 忘れものの申告は監視委員を通すこと

(9) 減点事項

- ① 作品が時間内に完成しなかった場合
- ② 忘れ物をした場合
- ③ 競技時間以外に、作品を修正した場合
- ④ 上記禁止事項や、注意事項を守らなかった場合

【競技会場 たとう紙、衣装箱、選手靴、モデル草履の配置図】

